

家族史Ⅱ

科目ナンバリング JPH-242
選択 2単位

宮川 麻紀

1. 授業の概要(ねらい)

本講義は、家族史Ⅰと対になり、日本における「家」の成立の歴史を学ぶものである。時代としては、原始・古代を対象とする。父母と子という現代に多くみられる核家族は、必ずしも日本の歴史上、自明のものではなかった。「家」と呼ばれる単位や、「男子(長男)が家を継ぐ」といったあり方は、どのように形成されていくのかみていく。現代の家族のあり方は必ずしも自明のものでなく、各時代の家族構成や人間関係はその時代特有の価値観や風潮と結びつきながら、政治や文化に大きな影響を与えていたことを学んでもらいたい。

2. 授業の到達目標

- ①各時代の家族のあり方について理解する。
- ②家族のあり方が政治や文化にどのような影響を与えたかを考察できるようになる。
- ③現代の家族のあり方や価値観が自明のものでないことを理解できるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

中間テスト 40%、期末テスト 60%
ただし、出席回数不足や授業態度も考慮するので、注意すること。

4. 教科書・参考文献

参考文献
関口裕子ら 『家族と結婚の歴史』
森話社
『日本家族史論集』全13巻 吉川弘文館

5. 準備学修の内容

- ・プリントをよく復習し、重要語句の意味や時代による変化をおさえる。
- ・分からない部分や欠席した部分は、参考文献を読んで理解しておくこと。
- ・中間テストの内容の一部は期末テストにも含まれるので、よく復習すること。

6. その他履修上の注意事項

出席回数が足りていても、テストの点が悪ければ単位修得できない場合がある。
期末テストは第十四回に行う予定なので、注意すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
・家族史の概説
・授業内容と評価方法の説明
- 【第2回】 講義 古代家族から中世家族へ[オンライン]
・古代の氏族概念から「家」観念への変化
- 【第3回】 講義 中世の「家」
・「家」の構成員や財産、名について
- 【第4回】 講義 中世の結婚と離婚
・結婚の決定方法や儀式、結婚後の住居
- 【第5回】 講義 中世の相続
・鎌倉時代の相続のあり方を中心に検討する
- 【第6回】 講義 中世の公家の「家」
・婚姻のあり方や居住形態の変化
- 【第7回】 講義 中世後期の主婦権
・「主婦」とその権限
- 【第8回】 中間テストと解説
講義 中世の乳母
・乳母の特徴とその権限
- 【第9回】 講義 「家」を形成しない女性
・中世の「家」からはみ出した人々
- 【第10回】 講義 近世の結婚
・身分に応じた結婚相手や儀式的あり方
- 【第11回】 講義 近世の家族
・近世的「家」の構成員と子育て観念
- 【第12回】 講義 近世の離婚
・離婚手続きと男女の差
- 【第13回】 講義 近世の相続
・主従関係の変化と相続のあり方
- 【第14回】 期末テストと解説
・講義 近世の支配と「家」
- 【第15回】 講義 近代の家族
・民法改正と結婚のあり方の変化